

A-21 東北農村における台所の型と食事炊事について

東北大学分校 大泉 ふさ

この調査研究は昭和30,31年度文部省科学研究費（総合研究）による“東北農村家庭の環境と構成に関する基礎的研究”における第二年の分担課題として行った“住生活の構造と住居の改善に関する調査研究”の一部である。

調査対象は前年度と同じく岩手県磐井郡藤沢町でその一般事情や住居の状態は既に発表されている。

この研究は食事・炊事の行為とそれらの空間をダイドコロ型とダシャ型について検討して、ダシャ型に変わってゆく傾向をダイドコロ型における大きな矛盾関係の緩和として見るが、しかし尚多くの問題を残している。

食事の場所は二つの型ともにダイドコロの炉辺において行われており、農作業や接客との競合関係を見ることが出来る。